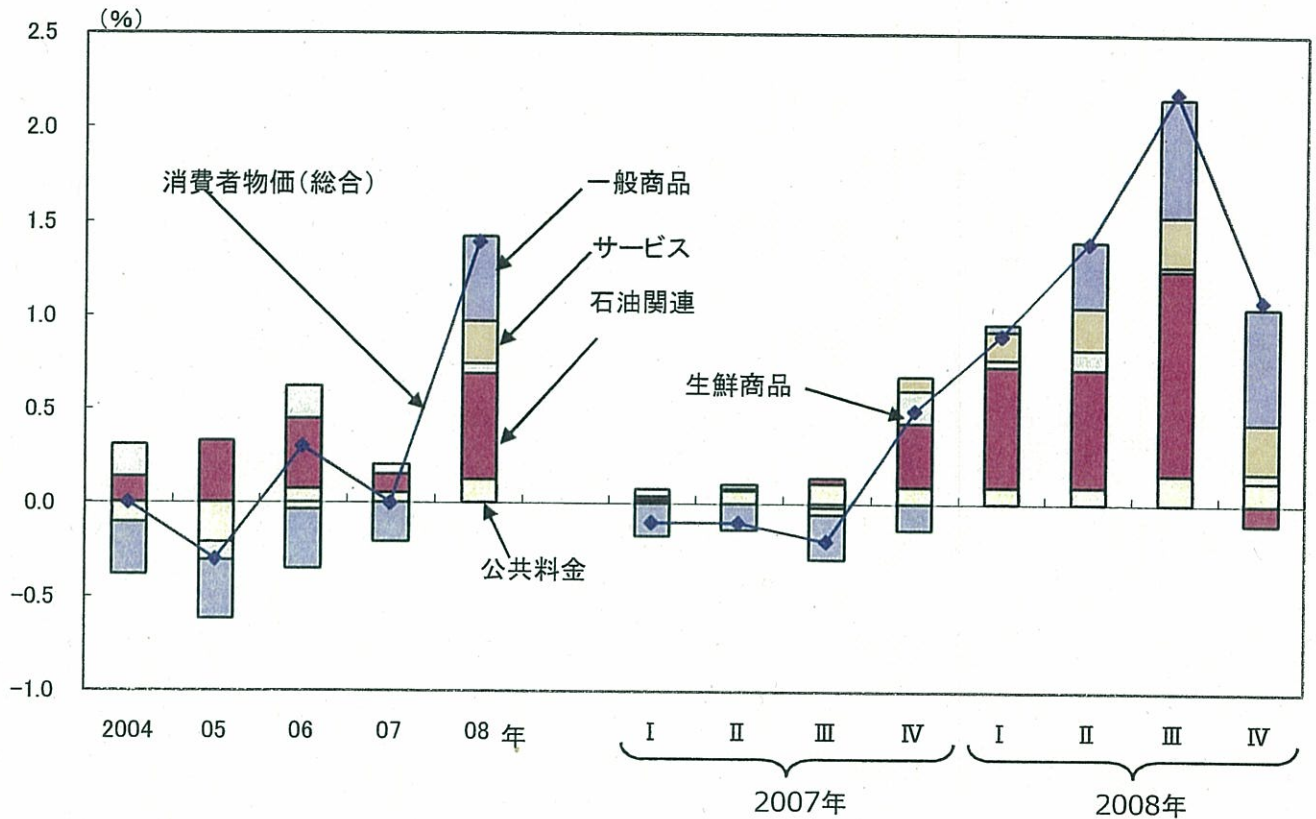


消費者物価の動向とその内訳



資料出所 総務省統計局「消費者物価指数」より厚生労働省労働政策担当参事官室試算

(注) 消費者物価指数(財・サービス分類)を以下のとおり一部組み替えている。

一般商品: 石油関連品を除く工業製品、米類、出版物等

サービス: 公共サービスを除くサービス

生鮮食品: 生鮮野菜、生鮮果物、生鮮魚介、肉類等

石油関連品: 灯油、プロパンガス、ガソリン

公共料金: 公共サービス、電気・都市ガス・水道

(生活面に大きな影響を与えた高い物価の伸び)

- 輸入物価の上昇に石油価格の高騰が加わり2007年後半から2008年央にかけて、消費者物価は高い伸びを示し、生活面に大きな影響を与えた。消費者物価は2008年平均で前年比1.4%上昇と11年ぶりの大きな上昇となった。
- 財・サービス別にみると、原油など燃料価格高騰の影響で、石油関連品は年間で大きな上昇要因となった。一般商品は輸入穀類を中心とした商品市況の値上がりにより、めん・パン類、乳製品等の食料工業製品が上昇した。
- 世界的な景気後退による需給の変化等を背景に、今後は横ばいないし低下基調で推移するものと考えられる。